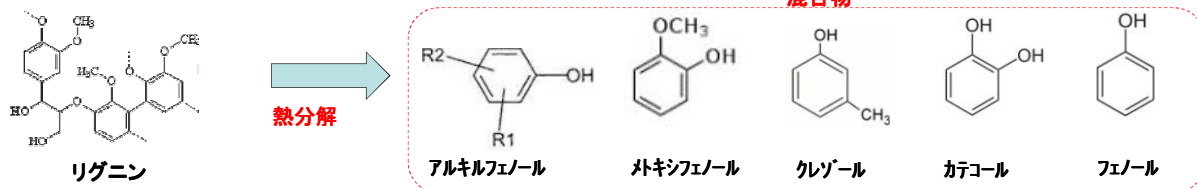


## リグニン含有バイオマスから フェノールモノマーの高選択率製造

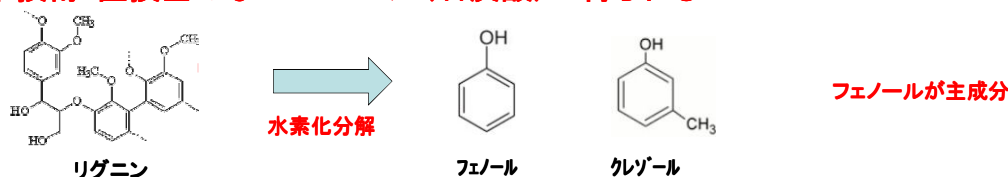
置換基のないフェノール(石炭酸)が高選択率で得られます

### 従来技術との比較

●従来技術:フェノール混合物が得られる



●本技術:置換基のないフェノール(石炭酸)が得られる



### 竹リグニンの水素化分解結果

#### 【反応条件】

反応条件: 300°C × 1h

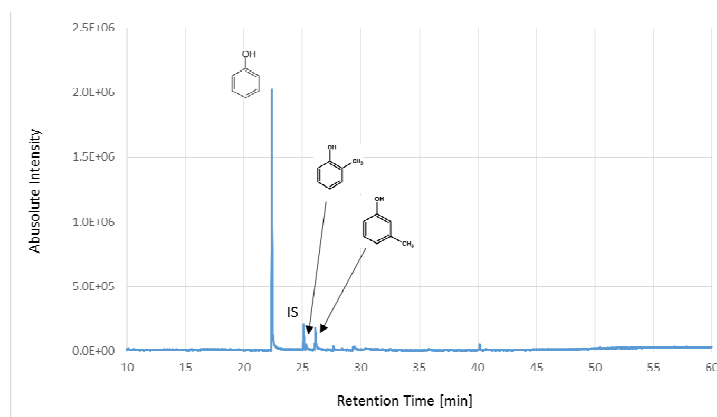
水素分圧 0.2MPaG

#### 【フェノール収率】

フェノール+クレゾールの炭素収率 : 6%

<現在収率の向上を目指して研究中>

うちフェノールの選択率 : 89%



本データは宮崎大学農学部殿より提供

### 今後の研究開発予定

今後、以下の開発研究を予定しております。

- 収率の向上検討(反応温度、時間、触媒との接触、攪拌条件など)
- 製造コスト低減(触媒量、反応濃度、連続流通化など)
- 使用原料の拡大(クラフトリグニン、サルファイトリグニン、ソーダリグニン、他)
- スケールアップ研究

●本技術は、宮崎大学殿とKRIの共同研究になります

●本技術は、特許出願済みです